

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-267082

(P2004-267082A)

(43) 公開日 平成16年9月30日(2004.9.30)

(51) Int. Cl.<sup>7</sup>

AO1K 97/06

F I

AO1K 97/06 501

テーマコード(参考)

2B109

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2003-61058 (P2003-61058)

(22) 出願日 平成15年3月7日(2003.3.7)

(71) 出願人 000125967

株式会社がまかつ

兵庫県西脇市郷瀬町4 1 7 番地

(74) 代理人 100125678

弁理士 大西 健

(72) 発明者 麻田 尚弘

兵庫県西脇市郷瀬町4 1 7 番地 株式会社

がまかつ内

Fターム(参考) 2B109 BA04

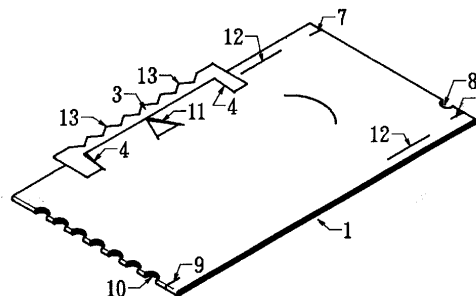
(54) 【発明の名称】 釣り用仕掛係合用台紙

(57) 【要約】

【課題】 サビキ仕掛等、幹糸に多数のハリスを取り付けた仕掛を係合させる台紙にあって、一旦台紙から外して使用した仕掛を、再度台紙に整然とした形で巻き取れるようにすることを目的とする。

【解決手段】 台紙の上端部からやや下がった位置に複数の釣り針を保持させる針掛片を係合させた台紙にあって、台紙の縁部に針掛片の両側部を差し入れ得る構成の切り込み部を形成し、切り込み部に針掛片を差し入れることによって、台紙の縁部に針掛片を保持させ得るように構成したことを特徴とする釣り用仕掛係合用台紙。

【選択図】 図3



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

台紙の上端部からやや下がった位置に複数の釣り針 2 . . . を保持させる針掛片 3 を係合させた台紙にあって、台紙の縁部に針掛片 3 の両側部を差し入れ得る構成の切り込み部 4 を形成し、該切り込み部 4 に針掛片 3 を差し入れることによって、台紙の縁部に針掛片 3 を保持させ得るように構成したことを特徴とする釣り用仕掛係合用台紙。

## 【請求項 2】

台紙の上端部からやや下がった位置に複数の釣り針 2 . . . を保持させる針掛片 3 を係合させた台紙にあって、台紙の縁部に、仕掛に付けられた釣 2 . . . 全部を掛け止め得る針掛け部 1 4 を形成したことを特徴とする釣り用仕掛係合用台紙。

10

## 【請求項 3】

台紙の上端部からやや下がった位置に複数の釣り針 2 . . . を保持させる針掛片 3 を係合させた台紙にあって、台紙の下縁部に、複数個の円弧状の切り込み凹部 1 0 . . . を形成したことを特徴とする釣り用仕掛係合用台紙。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

## 【発明が属する技術分野】

この発明は、サビキ仕掛等、幹系に複数の釣り針を取り付けた釣り用仕掛を係合させる台紙の改良に関するものである。

## 【0002】

20

## 【従来の技術】

幹系から複数のハリスを延出させた構成の釣り用仕掛を販売するに際しては、仕掛全体を台紙に係合させた状態とした後、透明の袋体に収容した形でなされるのが普通であるが、従来使用されている台紙は、長方形の台紙の上端部から下がった位置に、釣り針を掛け止める透明の針掛板を取り付けた構成となっており、仕掛を係合させるに際しては、各釣り針を針掛板に順次掛け止めるとともに、ハリスと幹系を台紙に巻き付けるという方法で行なわれているのである。

## 【0003】

## 【発明が解決しようとする課題】

このような従来の台紙は、仕掛の販売を前提にしたものであって、一旦仕掛を台紙から外した後で、もう一度仕掛を台紙に巻き取るというようなことは全く考慮されておらず、使用した後の仕掛は、全体を丸めて捨てられしまうのが実情である。

30

## 【0004】

しかし、釣りを終えた場合は勿論のこと、釣り針の状況等により、構成の異なった仕掛に取り換えることが多いのであるが、そのような場合に、外した仕掛を丸めて捨てるしかないとすれば、釣り場に仕掛がそのまま投棄されることになり、釣り場の環境を乱し、また、未だ使える仕掛を無駄にしてしまうことになるのである。

## 【0005】

この発明は、釣りを終えた場合や、仕掛を取り換えるような場合に、今まで使用していた仕掛を台紙に整然とした形で巻き取れるようにすることによって、従来の台紙にみられた欠点を除去しようとするものである。

40

## 【0006】

## 【課題を解決するための手段】

この発明は、サビキ仕掛等、幹系に多数のハリスを取り付けた仕掛を係合させる台紙にあって、台紙の縁部に針掛片の両側部を差し入れ得る構成の切り込み部を形成し、該切り込み部に針掛片を差し入れることによって、台紙の縁部に針掛片を保持させ、また、台紙の縁部に針掛部を形成し、釣り竿から仕掛を外す場合に、仕掛全体を元の台紙に整然とした状態にして巻き取れるようにしようとするものである。

## 【0007】

## 【実施例】

50

図面にもとづいて、この発明の実施例を説明すると、台紙本体 1 は、図 1、並びに図 2 に示すとおり、長形状の厚紙板と、透明の樹脂板で形成された針掛片 3 とからなり、厚紙板の上端部からやや下がった位置の両側部に、針掛片 3 を差し入れ得る形の切り込み部 1 2 が形成されているとともに、厚紙板の縁部に、針掛片 3 の両側部を差し入れ得る構成の切り込み部 4 が形成されており、該切り込み部 4 に針掛片 3 を差し入れることによって、厚紙板の縁部に針掛片 3 を保持させ得るように形成した構成となっているのである。

【0008】

すなわち、厚紙板は、上端部からやや下がった位置の両側部に、下記する針掛片 3 を差し入れ得る幅の切り込み部 1 2 ・ 1 2 が形成されるとともに、上両側部に幹系 6 を止めるための切り込み部 7 ・ 7 が形成されており、また、側縁部には、針掛片 3 の両側部を差し入れ得る浅めの切り込み部 4 が形成されており、切り込み部 4 に針掛片 3 を差し入れた場合、針掛片 3 の上端部に形成した山形状突起 1 3 が厚紙板の側縁部から突出した状態となって保持し得る構成となっており、また、下縁部に、複数個の円弧状の切り込み凹部 1 0 ・ ・ を形成した構成となっているのである。

10

【0009】

針掛片 3 は、細長状の薄い樹脂板で形成されており、その両端部を切り込み部内に差し入れることによって、厚紙板の表面に取り付け得る構成となっており、その上端部には、複数の山形状の突起 1 3 が連続して形成されており、その谷部に釣り針 2 を掛け止めることによって、仕掛における釣り針を整然とした状態で保持し得る構成となっているのである。

20

【0010】

この発明に係る台紙本体 1 は、上記のような構成であって、仕掛を販売するに際しては、図 2 に示すように、切り込み部 1 2 ・ 1 2 に針掛片 3 の両側部を差し入れて取り付けた状態にし、順次、釣り針 2 を針掛片 3 に掛け止めた後、幹系 6 を下方側に導いて挟み入れて固定するという作業を繰り返し、道系 6 の端部を台紙の上両側部に形成した系止め部 7 に挟み入れて固定し、全体を透明の袋に入れるという手順で行なわれるのである。

【0011】

上記は、針掛片 3 を台紙の横縁部に移動させるように形成した場合であるが、図 5、並びに図 6 に示すように、台紙の縁部に、鋸刃状の凹凸部を形成することにより、仕掛に付けられた釣り針 2 ・ ・ ・ 全部を掛け止める針掛け部 1 4 を形成した構成とすることも可能である。

30

【0012】

釣りを行なう際は、釣り竿から延びた釣り糸の端部に仕掛のスナップ 5 を連結した後、仕掛全体を引っ張り出し、道系 6 の後端部に餌籠や錘等を取り付けるという要領により行なわれるのであるが、釣りを終えた場合や、仕掛を変更するような場合には、図 3、並びに図 4 に示すとおり、台紙の針掛片 3 を取り外し、横側縁部に形成した切り込み部 4 付近に移動させ、針掛片 3 の両側部を切り込み部 4 ・ 4 端部に差し入れるとともに、その中心部を支持部 1 1 に差し入れて取り付けた後、釣り針 2 を、順次、針掛片 3 に掛け止めるとともに、幹系 6 を台紙本体 1 に形成した凹部 8 と凹部 1 0 とに掛けて巻き付け、最後に、幹系 6 の端部を切り込み部 7 ・ 9 に挟み入れて固定するという手順で行なわれるのである。

40

【0013】

【発明の効果】

この発明にかかる台紙は、もともと台紙の表面上に取り付けられていた針掛片 3 を、台紙の縁部に移動させて保持し得る構成、あるいは、台紙の縁部に形成した針掛部 1 4 によって保持し得る構成となっているため、使用した後の仕掛における多くの釣り針を、針掛片 3、あるいは針掛部 1 4 に簡単に係合させることができ、絡みやすい仕掛の再度の使用を可能にするという利点があるのである。それにより、釣り場に仕掛が無造作に投棄されることをなくし、釣り場の環境保護の一助となり得るのである。

【0014】

また、最近の台紙にあつては、幹系の端部を引っ張ることによって、仕掛全体を引き出し

50

得るような構成となっているのであるが、台紙の下縁部に凹部 1 4 . . . が形成されている結果、それぞれの幹系が適当な間隔をおいて凹部 1 4 に納まり、引き出しの際に隣の幹系に絡まることなく、抵抗なく取り出し得るという利点があるのである。

【図面の簡単な説明】

【図 1】台紙の構成を示す斜視図である。

【図 2】台紙に仕掛を係合させた状態を示す斜視図である。

【図 3】針掛片の位置を変えた状態の台紙を示す斜視図である。

【図 4】台紙に仕掛を巻き取った状態を示す斜視図である。

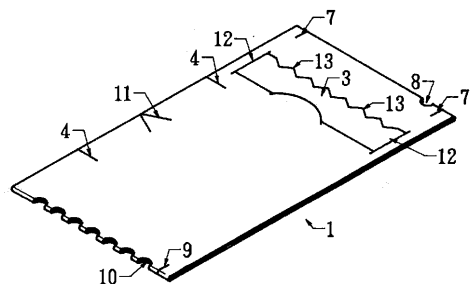
【図 5】台紙の構成を示す斜視図である。

【図 6】台紙に仕掛を係合させた状態を示す斜視図である。

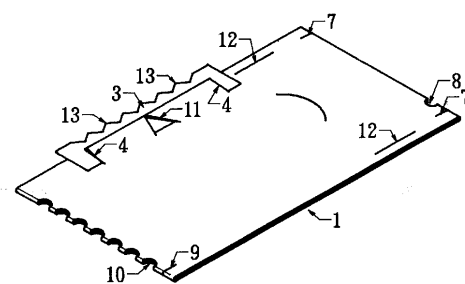
【符号の説明】

- 1 台紙本体
- 2 釣り針
- 3 針掛片
- 4 切り込み部
- 1 4 針掛部

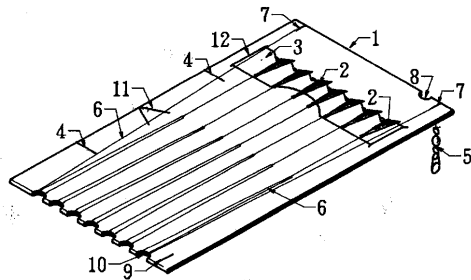
【図 1】



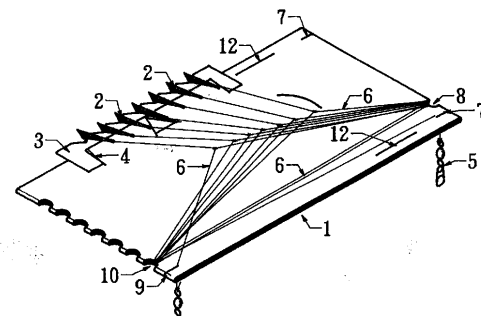
【図 3】



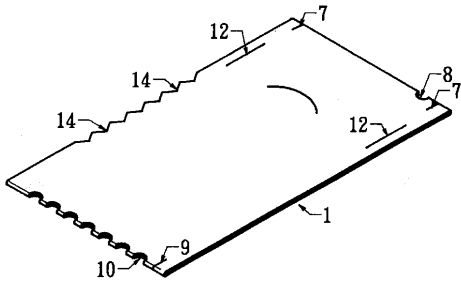
【図 2】



【図 4】



【 図 5 】



【 図 6 】

